

郷土の文化活動に尽力 松岡兄弟の功績顕彰 有年考古館で企画展開催

献をするかたわら、地

域の若者たち郷土史

研究にもいそした。

貧しい患者からは治療

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫

が執筆した『赤穂市

史』の原稿、有年考古

館の収蔵品目録をイギ

リスの大英博物館に送

付したときの受領書な

り、有年考古館を開設し

た。病院の2階を台宿

所として考古学を志す

学生たちを受け入れた

時期もあった。

企画展では、興の助

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫

が執筆した『赤穂市

史』の原稿、有年考古

館の収蔵品目録をイギ

リスの大英博物館に送

付したときの受領書な

り、有年考古館を開設し

た。病院の2階を台宿

所として考古学を志す

学生たちを受け入れた

時期もあった。

企画展では、興の助

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫

が執筆した『赤穂市

史』の原稿、有年考古

館の収蔵品目録をイギ

リスの大英博物館に送

付したときの受領書な

り、有年考古館を開設し

た。病院の2階を台宿

所として考古学を志す

学生たちを受け入れた

時期もあった。

企画展では、興の助

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫

が執筆した『赤穂市

史』の原稿、有年考古

館の収蔵品目録をイギ

リスの大英博物館に送

付したときの受領書な

り、有年考古館を開設し

た。病院の2階を台宿

所として考古学を志す

学生たちを受け入れた

時期もあった。

企画展では、興の助

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫

が執筆した『赤穂市

史』の原稿、有年考古

館の収蔵品目録をイギ

リスの大英博物館に送

付したときの受領書な

り、有年考古館を開設し

た。病院の2階を台宿

所として考古学を志す

学生たちを受け入れた

時期もあった。

企画展では、興の助

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫

が執筆した『赤穂市

史』の原稿、有年考古

館の収蔵品目録をイギ

リスの大英博物館に送

付したときの受領書な

り、有年考古館を開設し

た。病院の2階を台宿

所として考古学を志す

学生たちを受け入れた

時期もあった。

企画展では、興の助

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫

が執筆した『赤穂市

史』の原稿、有年考古

館の収蔵品目録をイギ

リスの大英博物館に送

付したときの受領書な

り、有年考古館を開設し

た。病院の2階を台宿

所として考古学を志す

学生たちを受け入れた

時期もあった。

企画展では、興の助

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫

が執筆した『赤穂市

史』の原稿、有年考古

館の収蔵品目録をイギ

リスの大英博物館に送

付したときの受領書な

り、有年考古館を開設し

た。病院の2階を台宿

所として考古学を志す

学生たちを受け入れた

時期もあった。

企画展では、興の助

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫

が執筆した『赤穂市

史』の原稿、有年考古

館の収蔵品目録をイギ

リスの大英博物館に送

付したときの受領書な

り、有年考古館を開設し

た。病院の2階を台宿

所として考古学を志す

学生たちを受け入れた

時期もあった。

企画展では、興の助

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫

が執筆した『赤穂市

史』の原稿、有年考古

館の収蔵品目録をイギ

リスの大英博物館に送

付したときの受領書な

り、有年考古館を開設し

た。病院の2階を台宿

所として考古学を志す

学生たちを受け入れた

時期もあった。

企画展では、興の助

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫

が執筆した『赤穂市

史』の原稿、有年考古

館の収蔵品目録をイギ

リスの大英博物館に送

付したときの受領書な

り、有年考古館を開設し

た。病院の2階を台宿

所として考古学を志す

学生たちを受け入れた

時期もあった。

企画展では、興の助

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫

が執筆した『赤穂市

史』の原稿、有年考古

館の収蔵品目録をイギ

リスの大英博物館に送

付したときの受領書な

り、有年考古館を開設し

た。病院の2階を台宿

所として考古学を志す

学生たちを受け入れた

時期もあった。

企画展では、興の助

が使った医療費や力

つて発行した雑誌『郷

土研究』を並べ、秀夫